

ちよぼら

みんなで楽しく気軽にちよっとずつのボランティア

vol.45

URL <http://www.tachi-shakyo.or.jp>



守部ミニデイ

～朗読の風を届けたい～

子どもたちからお年寄りまで、聞いて下さる方々と一緒に朗読を楽しんでいます。朗読は年齢や経験を問わず誰でも気軽に参加できます。一緒に声を出してみませんか？

代表 福村 千代美



フングラス大刀洗



図書館

01-フォトギャラリー

ナレーションサークル風

02-ボランティアroom

～身近な“あの人”にちよっとイ話をインタビュー～
読み聞かせ「風の子文庫」

03-特集“ボラ連”と“ボラセン”って何!?その2

～ボランティアの本音を語り合う～

・ふくおか“きずな”フェスティバル報告

04-初心者向け朗読ボランティア講座に参加して

・清心乳児園がボランティアを募集

ボランティアroom

身近な“あの人”にちょっとイイ話をインタビュー

風の子文庫 良い本を読んであげたい



活動の始まりは

22年前、自分の子どもと一緒に、良い本を読んであげたいとの思いで、乳幼児学級の仲間5人で発足しました。保育園では「風の子」ブースを設けてもらい、お誕生日やお祭りで、わが子をおんぶしながらおはなし会をしました。

こころ豊かに暮らそう



代表 平川由利さん



子どもたちと一緒に…小学校「朝読」の先駆け

私自身は、19年前に7年間大阪に転居。転居先の茨木市でも小学校や地域で、精力的におはなし会を展開！ブラックシアターやパネルシアター、大型紙芝居などを手づくりし、子どもたちと上演会を楽しみました。また、学校初のおはなし会をお昼時間に始め、その活動が新聞で紹介されました。大刀洗町に帰ってからは、本郷小学校からの提案で朝の本読みを始めました。これが大刀洗町の4小学校での「朝読」の始まりになったと思います。

大切にしていること

子どもたちには、流行りの本やみんなが手に取りやすい本は避けて、あまり知られていないけれど良い本、心に響く本を選んで読んでいます。

これから

11月のドリームまつりでは、図書館ボランティアの発表の場として、「風の子文庫」の主導で、宮澤賢治の『注文の多い料理店』をブラックパネルシアターで上演し、好評を得ました。

メンバーはみんな仕事を持っているので無理をせず、これからもずっと続けて行きたい。そして自分たちも、子どもたちも、本を通してたくさんの思い出がふえるといいなと思います。



インタビューを終えて

平川さんの優しい笑顔に子どもたちの笑顔が重なって見えるようでした。

図書館のおはなし会のご案内

おはなしを聴きに親子・ご家族でお越しください。
毎週土曜日 午前11時～

スペシャルおはなし会のお知らせ

4月28日(土) 午後2時～

4つの読み聞かせボランティアがお話を披露します。お土産もあります。お待ちしております。

(この日は11時からのおはなし会はお休みです)

特集

“ボラ連”と“ボラセン”って何!? その2

～ボランティアの本音を語り合う～

1/27 ボラ連とボラセンの交流会第2回目を開催。「ボランティアを続ける理由」や「悩みや困りごと」「ボラセンに期待すること」などについて活発な意見が出ました。



* ボランティアを続ける理由

* ボラセンに期待すること

初心者講座・養成講座を充実させて

ボランティアの良さを伝えるにはPRが大事

得ているものの方が多い

「おいしかった」というひと言がうれしい(配食ボランティア)

自分が楽しいからつづけている

地域になじみたいと思って参加、知り合いが増えた

* 悩みや困りごと

中心になる人の育成をどうするか

ボランティアが高齢化し、後継者ができないのが悩み

ひとりでいくつも活動していて時間がとれない

ボランティア活動するには家族の協力が必要

ボランティアの大切さ、すばらしさ、そして「ボランティアは自分のためにするものなんだ」ということを知ってもらうことが大事だという認識を共有して会を閉じました。

ふくおか“きずな”フェスティバルに参加して

平田 敏子

2月18日、ボランティアの学びと交流の場として年に一度開催される“きずな”フェスティバルに大刀洗町のボランティアの仲間16名と一緒に参加してきました。

記念講演では、脳科学者明和政子氏より、脳の発達から考える子育てについてお話を聞きました。「人間の脳は、生後2ヶ月頃から人との関わりの中で発達し、子どもが育って行くと同時に親も育っていく。家族だけでなく地域も一体となって子どもを育てる共同養育が必要」と理解しました。核家族化が進む中、地域のみんなで子どもの成長を見守りたいものです。

帰りの車中では、各分科会の感想で盛り上がりました。色々な事を学び有意義な一日でした。

分科会の感想・談話

高齢者

高齢者に必要なものは、キョーイク（今日行く所）とキョウヨウ（今日する用事）

障がい児者

視覚障がい者のために、映画に副音声をつける活動を知り驚きました。

子育て・子ども

自宅を図書室として開放している話を聞き興味をもった。

災害

朝倉市の発表者からは、「まだまだボランティアの協力が欲しい」という声があった。



「初心者向け朗読ボランティア講座」に参加して

ナレーションサークル風 宮崎 誠



腹式呼吸と発声の練習

2月24日(土)に、ぬくもりの館で開催された研修会に参加しました。昨年に引き続き元宮崎放送アナウンサーでStudio Latata代表、鑪しずこさんを講師に迎え講義を受けました。20名を越える参加者が、発声方法や朗読の基本について説明を聴き、実際に声を出して文章を読みました。

朗読は、心にも身体にも大きな効果があり、心を豊かにし感動が生まれます。腹式呼吸をすることで身体が元

気になり、声は若返り、健康寿命を延ばしてくれます。本当に朗読は良いものですよ。

ぜひ、皆さんも朗読ボランティアに参加しませんか。そして、大刀洗町を元気にしましょう。

「朗読」でこんな活動をしています

町の図書館で子どもたちに絵本の読み聞かせをしたり、町内の高齢者施設やミニデイ、障がい者施設でおはなし会をしたり、参加されているみなさんと一緒に自分たちも楽しい時間を過ごしています。



できることから・・・
まずは見学に来ませんか？

朗読ボランティアのイイところ

- ・誰でも気軽に参加できる
- ・声や表情が若いと言われた
- ・年齢や地域を超えて仲間がふえた

詳しく知りたい・見学してみたい方は、

ボランティアセンター Tel77-4877までおたずねください

清心乳児園が ボランティアを募集

清心乳児園は菊池校区北山隈区にあります。さまざまな理由により家庭で養育できない乳幼児期の子どもたちが暮らしています。子どもの発達に合わせた家庭的な雰囲気大切にしています。

●縫い物ボランティア

子どもたちの食事用エプロンやシーツを縫って下さる方を募集しています

こんな作業をお願いします

食事用エプロン

タオルハンカチにヒモを通し、ヒモがずれないようにまん中を縫ってできあがり

シーツ

布地はすでに裁断されています。周りを縫って仕上げる

ご自宅で、できる時に・できる範囲の協力で結構です。園の方でも縫っていただけます。糸などの材料費は園で負担します。ゆっくり、自分のペースでお願いします。



清心乳児園よりメッセージ

私たちは、人と人とのつながりを大切にしたいと考えています。出会いという“点”と“点”から始まり、そのつながりが“線”になり、“線”がつながって“面”になる・・・。ボランティアのみなさんとも少しずつゆっくりつながっていったらと思っています。

スマイル



代表 福村宮生
福村千代美
田畠孝三
宮崎 誠

問合せ・連絡先

大刀洗町ボランティアセンター Tel77-4877
清心乳児園 (大西) Tel77-3132